

松山市消防局



より優しく より強い まつやまへ

松山市消防局 消防職員募集





私たちの使命は、

生まれ育ったまち、大好きなまちの


市民の笑顔を守ること。



現場での活動はもちろん、

市民の笑顔を守るために

様々な仕事があります。



松山市消防局には

あなたの力を

生かせる場所があります。





消防隊

いかなる火災も、
訓練で磨いた消防戦術で
市民を守る、消火のプロ

松山市中心部は、ビルが密集する繁華街や、道後温泉・松山城などの重要文化財がある一方、郊外には住宅街はもちろん、空港、石油コンビナートも形成されているため、様々な火災に対応しています。



救急隊

「何としても
人を救いたい」という
強い信念が命をつなぐ

一刻を争う救急現場にいち早く駆けつけ、冷静な判断で的確な救命処置を施し、迅速に医療機関へ搬送します。松山市消防局では、各署所に「救急救命士」を配置し、医師と連携を取りながら高度な救命処置を行います。



救助隊

後悔はしたくない、
日々の訓練は1メートル先で
助けを待っている人のため

火災はもちろん、交通事故現場・水難救助・倒壊建物・NBC災害など、誰もが容易に入ることのできない現場の最前線で尊い命を救うため、日々様々な訓練を行っています。

※NBC災害とは、核 (Nuclear)、生物 (Biological)、化学物質 (Chemical) による特殊災害のこと。



的確に状況を把握し、 部隊を統率する

災害情報を収集し、消防隊や救急隊などの各隊がスムーズに活動できるように指示を出します。災害現場では、警察・自衛隊などの各機関との調整を行うほか、関係者等からの聞き取りやドローンを活用して情報を収集し、的確に状況を把握して、部隊運用、安全管理を行っています。



先手を打って、 人命の危険や 火災発生を防ぐ

消防法などの関係法令に基づき、火災を未然に防ぐため適切な助言や指導を行うとともに、立入検査や行政指導を行います。また、同様の火災が起こらないよう、高度な資器材なども活用して火災の原因を究明し、今後の教訓として生かしていきます。



冷静かつ広角に 現場をイメージ、 適切な指示を迅速に出す

119番通報を受信し、災害に応じて消防隊や救急隊への出動指令や、市民の皆さんへの防災広報を行います。特に通報者への対応では、興奮状態を落ち着かせつつ必要な情報を正確に集める会話術も重要です。すべての現場活動の「初動の核」となる業務です。

松山市消防局の特色



高度救助隊

あらゆる災害から人命を救助するエキスパート

通常の災害はもちろん、将来発生が予想される南海地震などの大規模災害に備え、中央消防署に発足。電磁波などを使用した最新鋭の資機材を用いて、倒壊した建物の下から生存者を捜索・救出、生物・化学物質等による特殊災害にも対応するなど、高度な専門知識と特殊な資機材を活用し人命救助に当たります。



救急ワークステーション

救える命を確実に救う

松山市救急ワークステーションの運用により、救急救命士に義務付けられている「再教育病院実習」を救急出動体制を維持したまま医療機関で研修することができます。これにより、救急救命士をはじめとする救急隊員の教育体制が充実することはもちろん、24時間365日、重篤な救急事案に愛媛県立中央病院の医師と共に出動できる体制が整っています。



消防救急艇

島しょ部・沿岸部の安全安心を守る

消防救急艇「はやぶさ」は、中島地区・興居島・釣島・安居島などの島嶼部への救急対応や沿岸地域での消火・救助活動を行う救急自動車搭載できる船舶です。船内には、高規格救急車と同等の救急処置室が設けられているとともに、毎分3,000ℓの放水能力を有した消防ポンプが搭載されており、沿岸区域での消防力向上につながっています。

消防士になるためには

松山市消防職員採用試験への挑戦

松山市消防局では、例年、上級（大卒程度）は4月、初級（高卒程度）は7月に実施要領を発表しています。実施要領に記載している年齢等の受験資格に該当していれば、どなたでも挑戦できます。

採用試験の特徴

人物としての魅力を重視します！受験者の多くの方が、面接等を行う2次試験に挑戦しています。※試験内容は変更となる場合があります。

消防士としての第一歩

試験に合格し職員に採用されたら、愛媛県内の仲間と共に、愛媛県消防学校（松山市勝岡町）で6ヶ月間の研修を受けます。

勉強が苦手な方や体力に自信がない方も、この消防学校で消防士に必要な基礎知識や基礎体力を身につけるため、心配ありません。

勤務体制

24時間勤務はキツそう？ONとOFFの切替が大事！
趣味や旅行、家族との時間もしっかりとれます！

1 二交替制勤務

- … 4週間で1サイクル
(1週間の平均勤務時間:38時間45分)
- 当番日:8時30分から
翌日8時30分のうちの15時間30分勤務
(休憩・仮眠時間:8時間30分)
- 非番日:当番日の勤務明けの日
- 週休日:全日休み

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
勤務種別	当番日	非番日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日

2 三交替制勤務 (通信指令業務)

- … 3週間で1サイクル
(1週間の平均勤務時間:38時間45分)

3 毎日勤務

- … 8時30分から17時15分まで
(1週間の勤務時間:38時間45分)、週休2日制

初任給・諸手当

消防士も市役所職員と同じ公務員！
給料に加え各種手当が支給されています。

- 初任給
(大卒の場合)

消防職上級 205,800円

【参考】 事務職上級 190,700円 ※令和5年1月1日現在

- 諸手当

扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当、
期末・勤勉手当(4.40月分)など

休暇制度等

消防士だから休まず体力勝負！なんてことはありません！
ワークライフバランスの推進も行っています。

- 年次有給休暇

年間20日(繰越あり)
【取得実績】年間平均取得日数:15.9日(松山市全体) ※令和3年度

- その他の休暇等

結婚休暇、ボランティア休暇、介護休暇、療養休暇、忌引、
深夜勤務及び時間外勤務の制限(子育て、介護を行う職員)、
テレワーク・早出遅出勤務

- 子育て支援

産前・産後休暇、つわり休暇、妊娠検診休暇、出産補助休暇、育児参加休暇、
出生サポート休暇、育児休業(子が3歳に達するまで)、
育児短時間勤務、部分休業、育児時間、病児看護休暇



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



Twitter

お問い合わせ

松山市消防局 総務課 TEL.089-926-9214

〒790-0811 愛媛県松山市本町六丁目6-1

E-mail / sbsoumu@city.matsuyama.ehime.jp



松山市消防局マスコットキャラクター
はっぴーカバー君